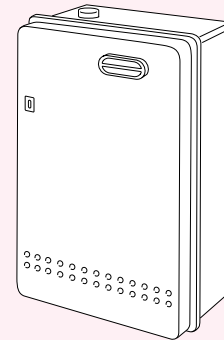


ガス暖房専用機 暖ライフ50

135-9010型

< BL認定品 > 型式名 GH-600W



(135-9010型)



(温水温度リモコン)

もくじ

必ずお守りください(安全上の注意).....	1
各部のなまえとはたらき(機器本体).....	7
各部のなまえとはたらき(温水温度リモコン)...	8
初めてお使いになるときは.....	9
使いかた	
リモコン操作音の消しかた、鳴らしかた...	9
時計を合わせる・時計を表示させる.....	10
暖房(乾燥)する.....	11
暖房水の補給について.....	12
暖房の開始時刻を予約する.....	13
暖房の終了時刻を予約する.....	14
冬期の凍結による破損予防.....	15
日常の点検・手入れのしかた.....	16
故障かな?と思ったら.....	17
アフターサービスについて.....	19
主な仕様.....	20

大阪ガス株式会社

お問い合わせ先

別添 大阪ガスのお問い合わせ先
をご参照願います。

おねがい ガスくさいときは、ガス栓を閉め窓を全開にして(火気に注意して)、大阪ガスにご連絡ください。

取扱説明書

大阪ガス

このたびは大阪ガスのガス暖房専用機をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
・この説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店
にお問い合わせください。
・別添の保証書の内容もよくお読みいただき、必ずお買い上げ日・販売店名等の記入を確かめてください。
・この説明書はいつでもご覧になれるところに保管してください。

SAQ8247



SAQ8247

必ずお守りください(安全上の注意)-1

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

■危害・損害の程度による内容の区分

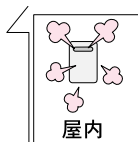
危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

■注意・禁止内容の絵表示

感電注意	高温注意	必ずおこなう	アース必要	禁止
火気禁止	接触禁止	分解禁止	ぬれ手禁止	

危険

屋内に設置しない



一酸化炭素中毒の原因になります。

警告

異常燃焼・異常臭気を感じたときや、地震・火災などの緊急時は、次の手順に従う

1. 放熱器の運転スイッチを「切」にする
2. 温水温度リモコンの暖房スイッチを「切」にする
3. ガス栓・給水元栓(給水配管がある場合)を閉める
4. 販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する

火災・感電・故障などの予防のため。

ガス漏れに気づいたときは、

1. すぐに使用をやめる
2. ガス栓を閉める
3. 販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する



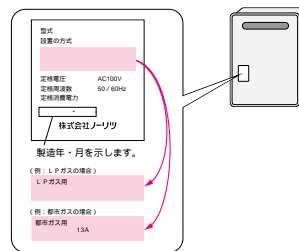
ガス漏れ時は、絶対に

- ・火をつけない
- ・電気器具のスイッチの入・切をしない
- ・電源プラグの抜き差しをしない
- ・周辺の電話も使用しない

火や火花で引火し、火災の原因になります。



必ず銘板に表示のガス・電源で使用する



表示以外のガス・電源で使用すると、異常燃焼し、火災や感電の原因になります。

燃えやすい物をまわりに置かない(洗濯物、新聞紙、灯油など)



火災の原因になります。

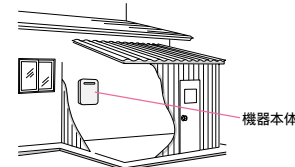
スプレー缶を、機器本体や排気口のまわりに置かない、使用しない

熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発・火災の原因になります。

灯油、ガソリン、ベンジンなど、引火のおそれのある物を機器のまわりで使用しない

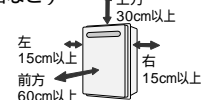
火災の原因になります。

増改築などで屋内状態にしない(波板囲いなど)



一酸化炭素中毒・火災の原因になります。

燃えやすい物とは離す(樹木、木材、箱など)



火災予防のため。

機器の設置・移動および付帯工事は、販売店に依頼する


安全に使用していただくため。


修理技術者以外は修理・分解・改造をしない

火災や故障の原因になります。

必ずお守りください(安全上の注意)-2


⚠️注意

 **必ずアースする**
機器が故障した場合、感電の原因になります。

 **電源プラグはぬれた手でさわらない**




感電の原因になります。

 **電源コード、電源プラグの破損・加工をしない**


束ねたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、物を乗せたり、衝撃を与えたりして無理な力を加えない。傷つけない。加工をしない。

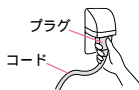
感電、ショート、火災の原因になります。

 **使用中や使用後しばらくは、排気口付近に触れない**




やけど予防のため。

 **電源プラグは、コードを持たずにプラグを持って抜く**





コードを持って抜くと、コードが破損し、発熱、火災、感電の原因になります。

 **電源プラグは根元まで確実に差し込む**



差し込みが不充分だと、感電や火災の原因になります。

 **電源プラグのほこりはときどき取る**
ほこりがたまると、火災の原因になります。

 **暖房、乾燥、換気以外の用途には使用しない**

思わぬ事故を予防するため。

乾電池に関する注意(お願い)

機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処置を依頼してください。

もしお客さまで旧機器の処置をされる場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処置をしてください。

お願い

リモコンを分解しない
故障や、思わぬ事故の原因になります。

リモコンの掃除には、ベンジンや油脂系の洗剤を使用しない
変形する場合があります。

リモコンに水しぶきをかけない、蒸気をあてない
炊飯器、電気ポットなどに注意。
故障の原因になります。

使用時の点火、使用後の消火を確認する
ガス事故防止のため。

温泉水や自家用井戸水で使わない
水質によっては、機器内の配管内部に異物が付着するなど耐久性を損なう場合があります

積雪時には給気口、排気口の点検、除雪をする
雪により給気口、排気口がふさがれると不完全燃焼し、機器の故障の原因になることがあります。

この機器の純正部品以外は使用しない
思わぬ事故の原因になります。

機器のまわりはきれいにしておく
まわりが雑草、木くず、箱などで雑然していると、機器の内部にゴキブリが侵入したりクモの巣がはったりして、機器の損傷や火災の原因になることがあります。

排気ガスが直接建物の外壁や窓、アルミサッシ(網入りガラスなど)に当たらないように設置する(増改築時注意)

ガラスが割れたり変色する原因になります。

冬期は、凍結予防処置をする(☞P15)
凍結すると、水漏れや故障の原因になります。

長期間使用しない場合、必要な処置をする(☞P15)

凍結および万が一のガス漏れを防止するため。

シーズン初めは暖房水を補給する(給水配管のない場合) 給水配管(☞P7)

シーズン初めは暖房水が少なくなっていますので、機器を停止して、暖房水を補給してください。(☞P12)

必ずお守りください(安全上の注意)-3

床暖房に関しては、以下の記載事項もお守りください

警告

❌ 床暖房中、床面に長時間座ったり寝そべったりしない

比較的低い温度でも低温やけどなどの皮膚障害を起こす危険があります。特に病人、高齢者、乳幼児、皮膚の弱い方などは、ご家族の方が十分に注意してください。

❌ 床暖房の上に、スプレー缶、ライターなどを置かない

熱でスプレー缶などの圧力が上がり、破裂するおそれがあります。

注意

❗ 水漏れなどの異常に気付いたら、運転を停止する
もよりの大阪ガスに連絡してください。

❌ ピアノなどの重い物はそのまま置かない
(パッドなどの緩衝剤を敷いて集中した荷重がかからないよう設置する)
床が破損し、水漏れのおそれがあります。

❌ 床暖房に、突起物 釘・画びょう・きり・裁縫針・ダニ防虫剤の注射針・はさみなどを刺したりしない
水漏れの原因になります。

❌ 床暖房の上に、カーペット、ゴザなどの敷物を敷かない
ホットカーペットやこたつなどとの併用をしない
床暖房の性能が発揮できなかつたり、床暖房の熱がこもって、床仕上げ材がひび割れ、変形、収縮、変色などの不具合が生じることがあります。

❌ 床暖房に衝撃を加えない
床が破損し、水漏れのおそれがあります。

❌ 床下防塵、防蟻処理などをする場合、床暖房および配管類に処理剤を付着させない
処理剤の溶剤によって床暖房の性能が維持できなくなるがあるので注意してください。

お願い

家具・調度品などを直接床暖房の上に置かない
家具などに熱がこもり、ひずみなどが発生するおそれがあります。床表面と家具などの間に空間をもうけるようにし、熱がこもらないように配慮してください。

キャスター付きの椅子や家具、および車椅子は使用しない
傷やへこみ、床鳴りなどの原因となります。

重たい家具などを動かす場合は、必ず持ち上げて移動する

傷や変形などの原因になります。

椅子などを引きずらない

床仕上げ材に傷が付きますので、床と接触する椅子の部分にフェルトなどを貼り付けて保護してください。

閉め切った部屋で長時間床暖房を使用しない

閉め切った部屋で長時間床暖房を使用すると、ごくまれに体調が悪くなる場合があります。接着剤や床仕上げ材のホルムアルデヒドが原因の一つに考えられるので、窓を開放し換気をおこなってください。(床暖房以外の製品が原因の場合もありますので、床仕上げ材の施工店にご相談ください)

床暖房の床の上に、エアコンやテレビなどのリモコンを長時間置かない

リモコンの故障の原因になります。

床暖房に水がこぼれたら、速やかに乾いた雑巾などでふき取る

水、薬品、しょうゆ、ペットの排泄物などをこぼした場合には、床仕上げ材、床暖房パネルの変色など、品質を損なう場合があります。

常時水の飛び散る台所や洗面所周辺は、濡れたまま長時間放置しない

床仕上げ材や床暖房パネルの品質を損なうことがあります。

床仕上げ材を貼り替える場合には、床仕上げ材メーカー指定工法で施工する

詳しくは、床仕上げ材メーカーにお問い合わせください。床仕上げ材のお手入れの方法も、床仕上げ材メーカーにお問い合わせください。

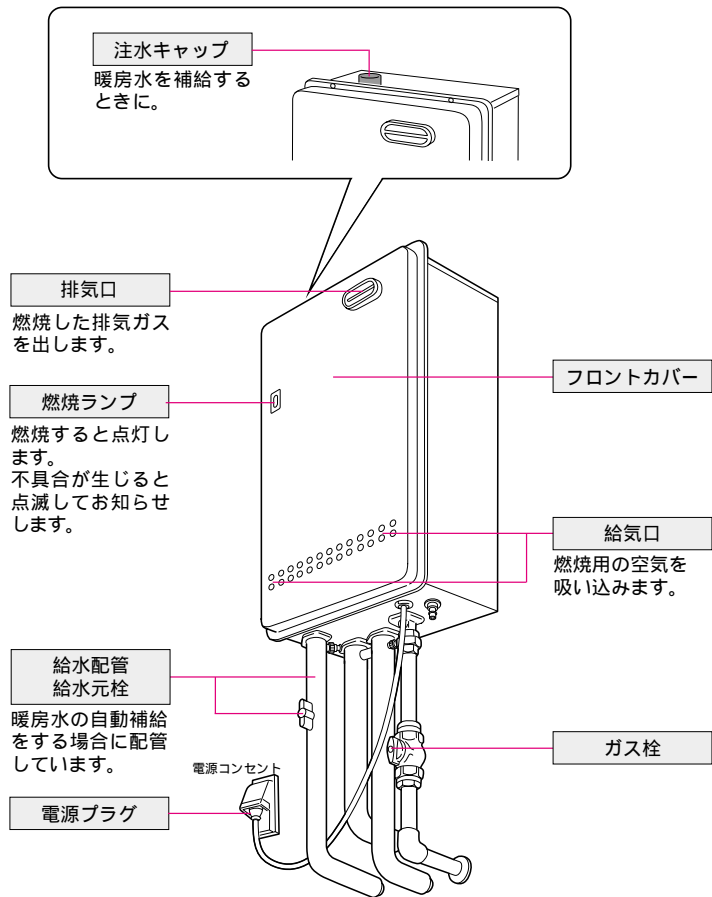
床暖房を他の目的に使用しない

特殊な用途 衣類の乾燥や動物の飼育、植物の栽培、食品の保存などには使わないでください。

各部のなまえとはたらき(機器本体)

機器本体

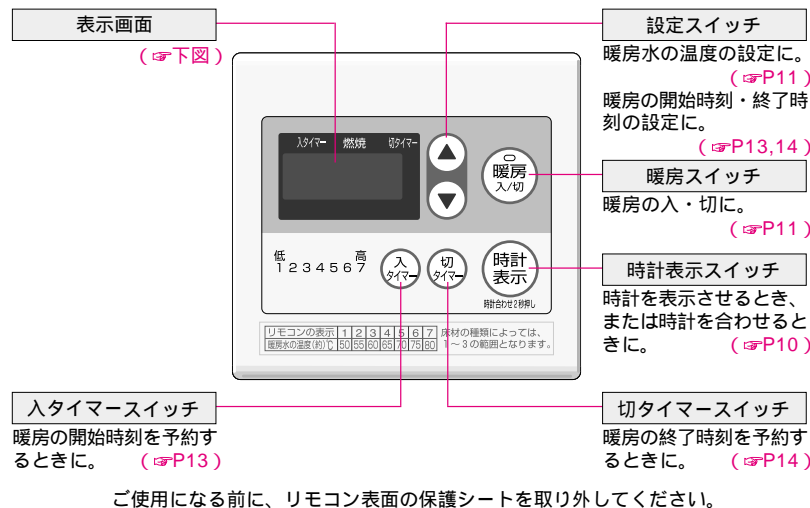
・135-9010型



上のイラストは施工例です。配管の形状、給水元栓・ガス栓・電源コンセントの位置など実際と異なります。

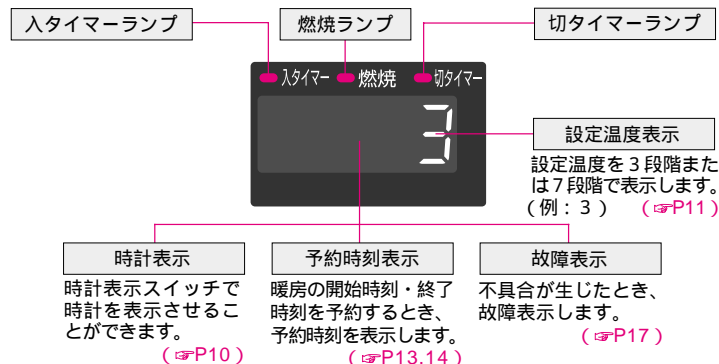
各部のなまえとはたらき(リモコン)

温水温度リモコン(142-4003型) < 別売品 >



表示画面

下記の表示画面は説明のため、全て表示したものです。実際の運転のときは、該当部分を表示します。

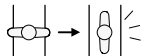


初めてお使いになるときは

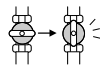
初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

1～4の手順でおこなってください。

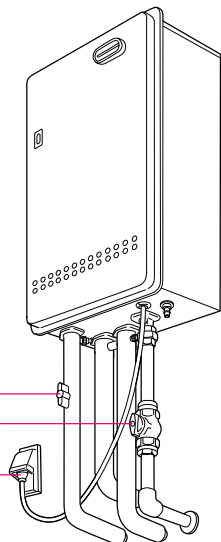
1 (給水配管のある場合)
給水元栓を全開にする。



2 ガス栓を全開にする。



3 電源プラグを差し込む。



4 放熱器の準備をする。
(放熱器の取扱説明書をご覧ください。)

使いかた

リモコン操作音の消しかた、鳴らしかた

(温水温度リモコン142-4003型がある場合)



温水温度リモコンの各スイッチを押したとき、正常に動作すると「ビッ」という操作音が鳴ります。お好みにより、この音を鳴らないようにしたり、鳴るようにしたりできます。(お買い上げ時は、鳴るように設定しています)

暖房スイッチ「切」の状態
暖房スイッチを約5秒間押す



操作音を鳴らすようにするときは、約5秒後に「ビッ」と音がします。操作音を消すときは、音はしません。

使いかた

時計を合わせる・時計を表示させる

(温水温度リモコン142-4003型がある場合)



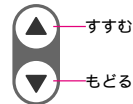
暖房スイッチの「入・切」に関係なく時計合わせや時計表示ができます。(イラストは「切」の状態です)

時計を合わせる

1 時計表示スイッチを約2秒押す
(「0:00」が点滅するまで)



2 時計を合わせる



一度押す毎に1分ずつ変わり、押し続けると10分ずつ変わります。

3 時計表示スイッチを押す



点滅から点灯に変わり、時計が動き出します。



例：「午前10時15分」のとき



時計を表示させる

時計表示スイッチを押してください。もう一度押すと、表示が消えます。



停電後または電源プラグを抜いたあと、再通電して時計表示させると「0:00」に変わってしまいますので、時計合わせをしておいてください。

使いかた 暖房(乾燥)する

温水温度リモコン(142-4003型)がない場合

1 暖房(乾燥)する部屋の放熱器の
運転スイッチを入れる

機器が燃焼すると機器の燃焼ランプが点灯します。



運転中でも燃焼が停止して燃焼ランプが消えることが
あります。

2 使い終わったら放熱器の
運転スイッチを切る

機器の燃焼ランプが消灯します。

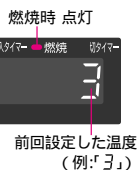


温水温度リモコン(142-4003型)がある場合



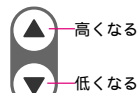
2
1

1 暖房スイッチを
「入」にする



前回設定した温度
(例:「3」)

2 暖房水の温度を
調節する



1～3の3段階または、1～7の7段階で設定できます。
(下表参照)



変更した温度

< 目安の温度 >

初期設定(工場出荷時) = 「3」

リモコンの表示	1	2	3	4	5	6	7
暖房水の温度(約)<	50	55	60	65	70	75	80
床材の種類によって、温度設定の上限が異なります	低温用(例:フローリング)の場合 1～3の範囲で設定できます						
	高温用(例:畳)の場合、1～7の範囲で設定できます						

低温用の床材で高温用の温度(4～7)に設定されると、低温やけどのおそれがあります。

放熱器の取扱説明書もご覧ください。

使いかた 暖房水の補給について

給水配管がない場合

機器の燃焼ランプが断続3回点滅してお知らせ、または温水温度リモコンで故障表示「043」が出た場合は、暖房水が減っていますので、暖房水の補給をしてください。
(このとき、放熱器の運転スイッチまたは温水温度リモコンの暖房スイッチを入れても運転しません)

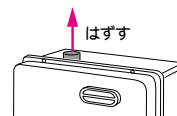
注意



高温注意

運転直後は機器が高温になっていますので、冷えてからおこなってください。
やけど予防のため。

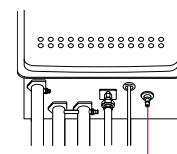
1 注水キャップを
はずす



暖房水補給の前に、放熱器の運転スイッチ、リモコンの暖房スイッチを切ってください。

2 水を入れる

オーバーフロー口から水が出るまで、やかんなどで水を補給してください。



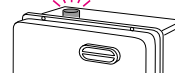
オーバーフロー口

暖房水が高温になると湯気が出ることがありますので、冷えてからはずしてください。

必ず水道水を使用してください。井戸水などを使用すると故障の原因になります。

3 注水キャップを
取り付ける

手ごたえを感じるまでしっかりとめ込む。

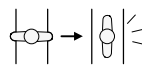


暖房水の補給は1年に1回程度ですが、暖房・乾燥の使用時間により異なります。水の減りかたが早かったり、急に早くなった場合は、水漏れしている可能性があります。販売店または、弊社窓口にご連絡ください。

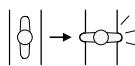
給水配管がある場合

暖房水は自動的に補給されます。

給水元栓は、開いたままにしておいてください。



万一、機器や放熱器から水が漏れたときには、給水元栓を閉めてください。



必ず、水道水を利用してください。

地下水などを使用すると、機器の故障の原因となる場合があります。

使いかた

暖房の開始時刻を予約する

(温水温度リモコン142-4003型がある場合)



2

入タイマーで一度予約しておく、解除するまで毎日その時刻に暖房を開始します。

1 3

運転前の準備

1. 暖房水の温度を確認する。(P11)
2. 現在時刻が正しいかどうか確認する。(P10)
3. (放熱器側に温度設定機能がある場合) 放熱器の温度を設定しておく。

使いかた

暖房の終了時刻を予約する

(温水温度リモコン142-4003型がある場合)



2

切タイマーで一度予約しておく、解除するまで毎日その時刻に暖房を終了します。

1 3

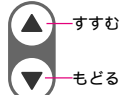
1 入タイマースイッチを押す



以前に開始時刻を設定していると、その時刻を表示します。

<一度設定すると記憶します>

2 設定スイッチで開始時刻を設定する (変更しない場合3へ)



一度押すごとに10分ずつ、押し続けると1時間ずつ変わります。



例:「午前7時」開始の場合

3 入タイマースイッチを押す または 30秒間放置する



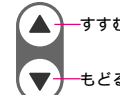
1 切タイマースイッチを押す



以前に終了時刻を設定していると、その時刻を表示します。

<一度設定すると記憶します>

2 設定スイッチで終了時刻を設定する (変更しない場合3へ)



一度押すごとに10分ずつ、押し続けると1時間ずつ変わります。



例:「午前9時」終了の場合

3 切タイマースイッチを押す または 30秒間放置する



予約を解除するときは

入タイマースイッチを押す。



予約を解除するときは

切タイマースイッチを押す。



暖房スイッチ「入」でも、1～3の操作で予約できます。(イラストは「切」の状態です)

暖房スイッチ「入」でも、1～3の操作で予約できます。(イラストは「切」の状態です)

冬期の凍結による破損予防

冬期に機器や配管の水が凍結して破損しないように、自動的に凍結による破損を予防します。

気温が下がってくると、自動的に暖房運転（燃焼）およびポンプ循環して暖房回路の水を暖め、凍結を予防します。回路内が暖まると暖房運転を停止します。（給水配管がある場合は、凍結予防ヒータで自動的に機器内を保温します）

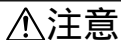
電源プラグを抜くと作動しないため、電源プラグは抜かないでください。ガス栓は開いたままにしておいてください。

不凍液を使用している場合もあります。（機器フロントカバーのラベルで確認してください）

大阪ガス指定の不凍液を使用してください。指定以外の不凍液は、故障の原因になりますので使用しないでください。

長期間使用しないとき

以下の要領で水抜きをしてください。



暖房使用直後は、暖房水が高温になっていますので、冷えてからおこなってください。やけど予防のため。

1 ガス栓を開める。



2（給水配管がある場合のみ）

給水元栓を閉め、

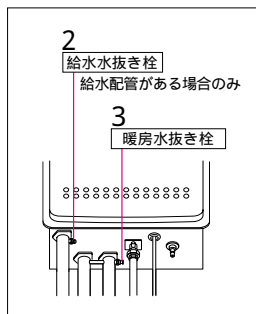


給水水抜き栓を左に回して開ける。

機器フロントカバーのラベルで、不凍液が入っているかどうか確認してください。

< 不凍液が入っている場合 >
以下の3の操作は必要ありません。

< 不凍液が入っていない場合 >
以下の3の操作で暖房側の水抜きをしてください。ただし、放熱器や暖房配管の凍結予防はできません。



3 暖房水抜き栓を左に回して開ける。

4 完全に排水したら、すべての水抜き栓を閉める。

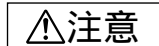
5 最後に電源プラグを抜く。

再使用のとき

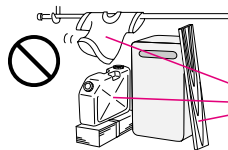
1. すべての水抜き栓が閉まっていることを確認する。
2. P9「初めてお使いになるときは」の手順で運転の準備をしてください。

日常の点検・手入れのしかた

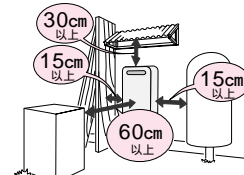
点検（月1回程度）



暖房使用直後は暖房水が高温になっていますので、冷えてからおこなってください。やけど予防のため。



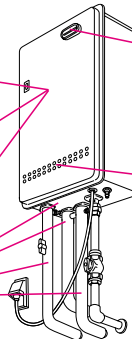
チリッ!
機器や排気口のまわりに洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など、燃えやすいものを置いていませんか。



チリッ!
運転中に機器から異常音が聞こえませんか。

チリッ!
機器の外観に、異常な変色や傷はありませんか。

チリッ!
機器・配管から水漏れはありませんか。



チリッ!
排気口がほこりなどでふさがっていませんか。

チリッ!
給気口がほこりなどでふさがっていませんか。

お手入れ（月1回程度）

機器本体

機器の外装の汚れは、ぬれた布で落したあと充分水気をふきとってください。特に汚れのひどいときには、中性洗剤を使用してください。

温水温度リモコン

温水温度リモコンの表面が汚れたときは、湿った布でふいてください。







温水温度リモコンの掃除にはベンジンや油脂系の洗剤を使用しないでください。変形する場合があります。

< 定期点検のすすめ（有料） >

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年一回程度の定期点検をおすすめします。販売店にご相談ください。

故障かな？と思ったら

次のことを確認してください

運転しない	停電していませんか？ 電源プラグが抜けていませんか？						
運転しない	ガス栓は全開になっていますか？ (温水温度リモコンがない場合は、ガス栓を全開にして、電源プラグをコンセントから抜き(燃焼ランプ消灯) 再度コンセントに差し込むで使用できます。 放熱器によっては、故障表示するものもあります。						
<table border="1"> <tr> <td>温水温度リモコンがない場合</td> <td>温水温度リモコンがある場合</td> </tr> <tr> <td>機器の燃焼ランプが連続点滅する</td> <td>故障表示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>113</td> </tr> </table>	温水温度リモコンがない場合	温水温度リモコンがある場合	機器の燃焼ランプが連続点滅する	故障表示		113	
温水温度リモコンがない場合	温水温度リモコンがある場合						
機器の燃焼ランプが連続点滅する	故障表示						
	113						
運転しない、または途中で運転が止まる	暖房水が不足しています。暖房水を補給してください。(P12) 放熱器によっては、故障表示するものもあります。						
<table border="1"> <tr> <td>温水温度リモコンがない場合</td> <td>温水温度リモコンがある場合</td> </tr> <tr> <td>機器の燃焼ランプが断続3回点滅する</td> <td>故障表示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>043</td> </tr> </table>	温水温度リモコンがない場合	温水温度リモコンがある場合	機器の燃焼ランプが断続3回点滅する	故障表示		043	
温水温度リモコンがない場合	温水温度リモコンがある場合						
機器の燃焼ランプが断続3回点滅する	故障表示						
	043						
ときどきポンプの回転音(ウーン)がする	凍結予防のため、ポンプが自動的にはたります。(P15) 長時間使用しないときに、暖房回路内にたまった空気を抜き、次回使用するときに支障がないようにするためです。(約1ヶ月ごと)						
放熱器を使っていないのに燃焼ランプが点灯する	凍結予防のため、ポンプが自動的にはたらいて燃焼します。(P15)						
時計表示させると0:00になっている	停電もしくは電源プラグが抜けると0:00になります。時計合わせをしておいてください。						

下記の場合は、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

上記以外の機器の燃焼ランプの点滅表示(例:連続2回点滅)が出るとき
上記以外のリモコンの故障表示(例:143など)が出るとき
上記の確認・処置をしてもなお異常のあるとき
その他、わからないとき

床暖房に関して

床面がなかなか暖まらない	床仕上げ材の種類や外気温、住宅構造などによって、床面が暖まるまでの時間が異なります。 あらかじめタイマー運転を設定して使用してください。(タイマーの設定方法については、リモコンの運転手順を確認してください)
床暖房の温度が上がらない 室温が上がらない	室温センサー付きの床暖房リモコンを使用している場合、リモコンの近くにストーブなど高温になる暖房機器を置くと、暖房性能が発揮できないことがあります。 ストーブなどの暖房機器の位置を変えてください。 リモコンに日差しが直接あたると、暖房性能が発揮できないことがあります。カーテンなどで直接日差しがあたらないようにして使用してください。
床面の暖かさが場所によって違う	温水床暖房はパイプ内に温水を循環させて床を暖めているので、パイプのあるところとないところでは床面の温度に若干の差が生じます。
リモコンの温度設定を変えないのに床の温度が低くなった	<室温センサー付きの場合> 室温がリモコンの温度設定より高い場合には、床面温度を下げて室温調整をしています。 リモコンの温度設定を上げてください。 <床温センサー付きの場合> 床暖房の1箇所にも床温センサーが入っています。その部分を座布団などで覆うとセンサーが正常に作動せず、他の床面温度が低い場合でも、全体が低めの温度制御となります。このような場合には、座布団などの位置を変えるなどして使用してください。
床暖房使用中に床面から音がする	床暖房の熱によって、パネル本体および床仕上げ材、床の構造体が膨張・収縮して発生する音か、温水の通水音によるもので、異常ではありません。
床仕上げ材の継ぎ目に隙間がある	フローリングや畳などは、耐熱処理や含水率調整をした床暖房用の天然材を使用していますが、床暖房の熱やエアコンなどの暖房機器の連続使用による過乾燥で、素材が収縮して継ぎ目に若干隙間が生じることがあります。
床面の足触りが場所により違う	床仕上げ材の固定用根大部分や温水配管接続部、温水配管部などのため、床面の足触りが部分的に周辺と異なることがあります。
床表面に凸凹や段差がある	温水パネルの2枚以上の併設時や、床仕上げ材や床暖房パネルと周辺合板の継ぎ合わせ部などには、多少の凸凹があるため、光の照らし具合により目立つことがあります。
床面が変色した	床仕上げ材に直射日光が長時間当たると、日焼けによる変色やひび割れが避けられません。カーテンやブラインドなどでさえぎるようにしてください。

アフタ - サ - ビスについて

サービスを依頼される時

P17～18の「故障かな?と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

連絡していただきたい内容

製品名 …………… 135-9010型
(下記のようなラベルを本体の正面左下に貼り付けてあります)
例) (N)135-9010

大阪ガス株式会社

お買い上げ日 … 保証書をご覧ください
異常の状況 …… 故障表示など、できるだけ詳しく
ご住所・ご氏名・電話番号
訪問ご希望日



保証について

この製品には保証書がついています。
必ず「販売店名・お買い上げ日等」が記入されているのを確認してください。
保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間について

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後10年です。
但し、最低保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

移設される場合

転居などで機器を移設されるときは、機識(銘板)に表示してあるガスの種類・電源(電圧・周波数)が移設先と合っているか必ずご確認ください。

不明のときは、移設先のガス事業所、販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。

ガスの種類の異なる地域へ移設されるときは、機器の改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でも有料です。

主な仕様

- ・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・ガスは J I S に規定する標準ガス、標準圧力での値です。

仕様表

製 品 名	135-9010型	
型 式 名	GH-600W	
種 類	暖 房 方 式	温水循環方式
	設 置 方 式	屋外設置形
点 火 方 式	放電点火式	
ポンプ機外揚程	kPa	52.0(5.3mH ₂ O)以上(4ℓ/分のとき)
膨張タンク有効容量	ℓ	1.7
外 形 寸 法	mm	高さ 600 × 幅 350 × 奥行 200
質 量 (本 体)	kg	15(満水時17.5)
接 続 口 径	ガ 都 市 ガ ス	R1/2
	L P ガ ス	R1/2
	暖 房	G3/4
	オ ー バ ー フ ロー	R1/2
電 電 源	AC100V(50/60Hz)	
電 気 開 係	消 費 電 力 (50/60Hz)	100/135
	待 機 消 費 電 力 W	3.5
温 度 制 御 方 式	電子式ガス比例制御方式	
安 全 装 置	立消え安全装置、空だき安全装置、空だき防止装置、過熱防止装置、凍結予防装置、過電流防止装置、ファン回転数検出装置、誘導雷保護装置、ポンプ過負荷保護装置、漏電安全装置	

能力表

使 用 ガ ス	1時間当たりのガス消費量 都市ガス用 KWh(kcal/h), LPガス用 KWh(kg/h)	1時間当たりの標準出力(能力最大時) KWh(kcal/h)
都 市 ガ ス 用	13A	7.27 (6,250)
L P ガ ス 用		7.27 (0.52)
		5.81 (5,000)
		5.81 (5,000)